

3. 消防財政

1. 市町村の消防費

(1) 消防費の決算状況

消防費の決算状況は、下表のとおりである。

市町村普通会計及び消防費の決算状況

(単位：億円、%)

項目		21年度	20年度	増減額	増減率
普通会計歳出総額(a)	一部事務組合 を含む	19,369	17,759	1,610	9.1
消防費歳出総額(b)		1,050	1,055	△5	△0.5
(b)/(a)%		5.4	5.9		
普通会計歳出総額(c)	一部事務組合 を除く	19,086	17,480	1,606	9.2
消防費歳出総額(d)		874	882	△8	△0.9
(d)/(c)%		4.6	5.0		

また、消防費の市町村普通会計歳出総額に占める比率を市町村別にみると、鋸南町（9.3%）が最も高く、次いで酒々井町（7.3%）、木更津市（7.2%）の順となっている。

(2) 1世帯及び住民1人あたりに支出した消防費

市町村における平成21年度消防費の1世帯当たり及び住民1人当たりの県平均額は下表のとおりである。

市町村別に見ると、住民1人当たりの消防費は、鋸南町（42,421円）が最も高く、次いで大多喜町（27,876円）、芝山町（26,707円）の順となっている。

また、1世帯当たりの消防費は、鋸南町（109,677円）が最も高く、次いで芝山町（85,374円）、大多喜町（84,787円）の順となっている。

1世帯当たり、住民1人あたりに支出した消防費の推移

(単位：円)

項目 / 年度		17	18	19	20	21
1世帯あたり	組合 含む 一部 事務	44,334	44,648	44,340	43,428	42,430
住民1人あたり		17,134	17,248	17,337	17,728	17,031
1世帯あたり	組合 除く 一部 事務	36,902	37,463	37,070	36,307	35,338
住民1人あたり		14,262	14,472	14,495	14,403	14,185

(3) 消防費の性質別内訳

消防費の性質別内訳は、次のグラフのとおりであるが、消防費のうち人件費の占める割合が高く、全体に占める割合は64%である。

平成21年度市町村別消防費性質別歳出決算額の割合（一部事務組合を含む）

単位：百万円

